

公表

事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	児童発達支援センターいっぼ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	72	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 3月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 23
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設との連携と情報交換。	<ul style="list-style-type: none"> いっぼでのお子さんの様子を丁寧にお伝えしていく。 訪問先施設での課題を聞き取り、改善策を一緒に考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> いっぼ（児童発達支援センター）の取り組みについてお玉の先生方に知っていただくための紹介をする。 可能であれば、訪問先施設の先生方にいっぼに来ていただく。
2	保護者向けの勉強会の実施や各種情報提供を行っている。	特に、年長児保護者向けには、「就学」をテーマにした準備講座や、放課後デイ利用のためのサービス申請の説明会などを開催している。	おもに平日の午前中開催となっており、お仕事の都合などでどうしても出席できない保護者もいるとうかがっている。今後は、曜日、時間帯なども検討していく。
3			

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	対象となる就園クラスの児童が多く、訪問頻度など十分対応できていない部分がある。	訪問担当職員が限定されており、対象児童の数に見合っていない。	職員体制を見直していく。 また、保護者に向けては当面の訪問頻度の見通しを具体的に説明していく。
2	訪問先施設との相談内容、その他取り決め事項（次回訪問時期、緊急時の対応など）がタイムリーに報告できていないところがある。	訪問後のフィードバックが速やかでなく、訪問から間が空いてしまう時がある。保護者への連絡の遅れ。	訪問担当職員でこのことを共有し、訪問後の迅速な報告に努め、また、報告漏れのないように気をつける。
3			